

## 1. 製品及び会社情報

製品名	XL-Transfer Buffer [FAST] BW-4012, BW-4013
会社名	株式会社ファーマフーズ
住所	〒615-8245 京都市西京区御陵大原1番地49
〈緊急連絡先〉	月曜～金曜、午前9時～午後5時
担当部署	バイオメディカル部 アプロサイエンスグループ
電話番号	088-678-6372
FAX番号	088-678-6373
作成日	2015年5月11日
改訂日	2022年4月1日

## 2. 危険有害性の要約

重要危険有害性 有害性	強い眼刺激 飲み込むと有害のおそれ 生殖能または胎児への悪影響のおそれ 臓器の障害(中枢神経系、視覚器、全身毒性) 眠気又はめまいのおそれ 長期又は反復暴露による臓器の障害(中枢神経系、視覚器)
GHS分類	引火性液体:区分2 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性:区分2A

## GHSラベル要素



危険

## 3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名	メタノール
成分及び含有量	20%
化学式又は構造式	CH <sub>3</sub> OH
官報公示整理番号	2-201
CAS No.	67-56-1
国連分類	クラス 3 (引火性液体) 副次 クラス 6.1 (毒物)
国連番号	1230
混在するその他の成分	Tris(hydroxymethyl)aminomethane

## 4. 応急措置

目に入った場合	清浄な水で最低15分以上洗眼し、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣服や靴を脱ぎ、接触部を多量の水で洗浄する。
吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移し、保温、安静に努め、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぎ、大量の水で薄め、直ちに医師の診断を受ける。 もし意識のない場合は、水を与えたり、吐かせたりしてはならない。

## 5. 火災時の措置

消火方法	燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。 初期消火では、水噴霧・消火器にて消火する。 大規模火災の際には泡消火器などを用いて空気を遮断するのが有効。
消火剤	水、粉末、泡、炭酸ガス等

## 6. 漏出時の措置

飛散したものはかき集めて、容器に回収する。  
その後、残りは多量の水で洗い流す。その際、下水、公共用水域へ流出させないように注意する。

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い	適切な保護具を使用し、眼、皮膚、着衣への接触を避ける。 屋内作業場における取扱場所では、局所排気装置を使用する。 強酸化剤との接触を避ける。
保管	直射日光を避け、密栓し冷蔵庫(4℃)で保管する。 酸化剤・酸化性の強い物質との接触を避ける。 火気厳禁。

8. 暴露防止措置	
管理濃度	200ppm
許容濃度	日本産業衛生学会 ; 200ppm(260mg/m <sup>3</sup> ) ACGIH ; TWA 200ppm(260mg/m <sup>3</sup> )(皮膚) STEL 250ppm(皮膚)
設備対策	屋内作業場で使用する場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置し、取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具	保護眼鏡、ゴム手袋、防護マスク、長袖作業衣
9. 物理的・化学的性質	
形状	揮発性液体
色	無色
臭い	特異臭
pH	データなし
融点	-98℃
引火点	11℃ (タグ密閉式)
自然発火温度	464℃
比重	データなし
溶解度	アルコール、水に混和する。
10. 安定性・反応性	
安定性	光により変質する。
避けるべき条件	日光、熱、裸火、高い温度、スパーク、静電気、その他発火源、強酸化剤
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素、ホルムアルデヒド
11. 有害性情報	
皮膚腐食性	皮膚刺激—ウサギ 20mg/24時間 中程度
皮膚・眼に対する刺激性	眼刺激—ウサギ 40mg 中程度 EHC 196 (1997)、DFGOT vol.16 (2001)およびPATTY (4th, 1994)に、ウサギを用いた試験で軽度ないし中等度の眼刺激性が認められたとの記述があるが、回復性については明らかな記述がないこと、およびヒトで角膜の障害、強度の結膜浮腫が一過性に認められている(DFGOT vol.16 (2001)) (NITE)
感作性	データなし
急性毒性	吸入 ヒト TCL0: 300ppm 眼-視覚変化 頭痛 (RTECS) 経口 ヒト 女性 LDLo: 10mL/kg 呼吸低下 酵素阻害、誘発又は血液や細胞レベルでの変化 膵臓内分泌の型、機能の変化 (RTECS) 経口 ラット LD50: 5600mg/kg (RTECS) 経口 マウス LD50: 5800mg/kg (RTECS) 腹腔 ラット LD50: 7529mg/kg (RTECS) 腹腔 マウス LD50: 10765mg/kg (RTECS) 吸入 ヒト TCL0: 408ppm 肺、胸郭、または呼吸 -巣状線維症(塵肺) (RTECS) 吸入 ラット LC50: 64000ppm/4H (RTECS) 吸入 マウス LC50: 41000ppm/6H (RTECS) ラット経口LD50値=6200mg/kg(EHC 196 (1997)、ACGIH (7th, 2001)、DFGOT vol.16 (2001)、PATTY (4th, 1994))、9100mg/kg(EHC 196 (1997)、PATTY (4th, 1994))、12900mg/kg(EHC 196 (1997)、DFGOT vol.16 (2001)、PATTY (4th, 1994))および13000mg/kg(EHC 196 (1997)、ACGIH (7th, 2001)、PATTY (4th, 1994))に基づき計算値は7939mg/kgとなる。一方メタノールの毒性はげっ歯類に比べて霊長類には強く現れるとの記述が有り、(EHC196(1997))、ヒトで約半数に死亡が認められる用量が1400mg/kgであるとの記述(DFGOT ver.16)が有る。(NITE)
がん原性	データなし
変異原性	認められない。
生殖毒性	DNA損傷:ラット 経口 10 μ mol/L DNA抑制:ヒトリンパ球 300mmol/L 染色体異常試験:500 μ mol/L 小核試験:マウスリンパ球 7900mg/L
催奇形性	データなし

12. 環境影響情報	
分解性	分解度:92% by BOD(経産省既存化学物質安全性点検) 分解度:99% by TOC(経産省既存化学物質安全性点検) 分解度:100% by GC(経産省既存化学物質安全性点検)
蓄積性	データなし
魚毒性	甲殻類(ブラインシュリンプ)24時間LC50=900.73mg/L(EHC196、1998)
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	焼却炉で少量ずつ焼却する。 または、許可を得た産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
汚染容器及び包装	内容物を完全に除去した後に処分する。
14. 輸送上の注意	
国連番号	1230
国連分類	クラス 3(引火性液体) 副次 クラス 6.1(毒物)
海洋汚染物質	非該当
注意事項	容器・包装に漏れの無いことを確かめ、転倒・落下・損傷のないよう積載し、荷崩れを防止する。
15. 適用法令	
消防法	危険物第4類 アルコール類(水溶性) 危険等級2
毒物及び劇物取締法	劇物 包装等級3
労働安全衛生法	法第57条(令第18条)名称等を表示すべき有害物 法第57条の2(令第18条の2)名称等を通知すべき有害物 No.560 令別表第一の4 危険物 引火性の物 作業環境評価基準、作業環境測定基準 有機溶剤中毒予防規則;第二種有機溶剤
船舶安全法(危規則)	引火性液体
航空法	引火性液体
海洋汚染防止法	施行令別表第1 有害液体物質 Y類物質
化学物質管理促進法	非該当
16. その他	

- \* 本データシートは試薬としての一般的な取扱いを前提に記載しており、試薬以外での取扱いや大量の取扱いに関しては考慮されていないことがあります。
- \* 本データシートはすべての情報を網羅しているものではありません。
- \* 本データシートの内容は追加又は訂正されることがあります。
- \* 本データシートは安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。
- \* 特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。